

Special Exhibition

MOCO Collection Omnibus

—Debut Appearances and Comebacks—PART 1

特別展

MOCOコレクション オムニバス



初公開・久々の公開

2025.12.13 | 土 |
P ————— 2026.3.22 | 日 |

【休館日】月曜日、2025年12月28日(日)～2026年1月5日(月)、1月13日(火)、2月24日(火)
※但し、祝日の1月12日(月)、2月23日(月)は開館
【開館時間】午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
※12月19日(金)は「OSAKA光のルネサンス2025」にあわせて午後7時まで開館(入館は午後6時30分まで)
【入館料】一般1,600(1,400)円、高校生・大学生800(700)円
※()内は20名以上の団体料金 ※中学生以下、障がい者手帳などをお持ちの方(介護者1名を含む)、
大阪市内在住の65歳以上の方(要証明)は無料 ※上記の料金で館内の展示すべてをご覧いただけます
【主催】大阪市立東洋陶磁美術館 【共催】毎日新聞社

大阪市立 東洋陶磁美術館
THE MUSEUM OF ORIENTAL CERAMICS, OSAKA
〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-26 電話:06-6223-0055 <https://www.moco.or.jp>

【右上】加彩天王俑(かさいてんのうよう) 唐時代(8世紀) 海野信義氏寄贈 【右下】緑釉貼花蓮珠文碗(りよくかつゆうちようかれんじゅもんわん) 北宋時代(11世紀後半) 仰里欣仲氏寄贈 / 白備蔵コレクション 写真:六田知弘 【左上】黒繪部波文茶碗(くろおりべなみんちやわん) 桃山時代(17世紀) 美濃窯 松恵コレクション 写真:加藤成文 【左中】青白磁輪花杯・托(せいはいりんかはいたく) 北宋時代(11～12世紀) 景徳鎮窯 入江正信氏寄贈 【左下】鉄砂龍文蓋(てつしゃりゅうもんふた) 朝鮮時代(17世紀後半) 鈴木正男氏寄贈 ※作品は全て大阪市立東洋陶磁美術館蔵

MOCO Collection Omnibus

—Debut Appearances and Comebacks—PART 1

MOCOコレクション オムニバス

初公開・久々の公開 | PART 1

当館は、旧安宅産業株式会社が収集した世界屈指の中国・韓国陶磁コレクションである、「安宅コレクション」965件を住友グループから寄贈されたことを記念して、1982年11月に開館しました。また、1996年から1998年にかけて、李秉昌博士から韓国陶磁を中心とするコレクション351件の寄贈を受けました。実は、これらの核となるコレクション以外にも、開館以来40年余の間に、篤志家の方々から様々なコレクションが当館に寄贈され、収蔵品の質と量が拡充されてきました。

本展では、ほとんどが初公開となる茶道具を中心とした「松恵コレクション」や、久々の公開となる中国陶磁の酒器を中心とした「入江正信コレクション」、中国陶磁を中心とした「白樺廬コレクション」、人物・動物・建物をかたどった墓に副葬する中国陶磁を中心とした「海野信義コレクション」、韓国陶磁の魅力を日本に紹介した陶磁研究者の浅川伯教旧蔵作品や関連資料による「鈴木正男コレクション」を、オムニバス方式で紹介します。



関連プログラム

1. 「いまこそ聞きたい」シリーズ講座

各テーマをわかりやすく解説する初心者向けの講座です。

- 2026年1月24日(土)「コレクションってなに?」守屋雅史(当館 館長)
- 2026年3月14日(土)「備ってなに?」因幡聡美(当館 学芸員)

いずれも午前10時30分～12時/午後2時～3時30分(1日2回)

2. 学芸員講座

展示中の作品を中心に知識を深める講座です。

- 2026年2月14日(土)「仁清のやきもの—イメージの虚実—」梶山博史(当館 学芸課長代理)

午前10時30分～12時/午後2時～3時30分(1日2回)

上記1・2とも参加費 500円(別途入館料が必要です)

【会場】大阪市立東洋陶磁美術館 地下講堂

●事前申込制・先着順(各回定員45名)

※約1か月前から詳細情報が公開されます。当館ホームページのチケット購入画面からお申し込みください。—



3. 館長スペシャル・ナイト・トーク

館長の守屋雅史が、本展の見どころとなる作品について、展示室でギャラリートークを行います。

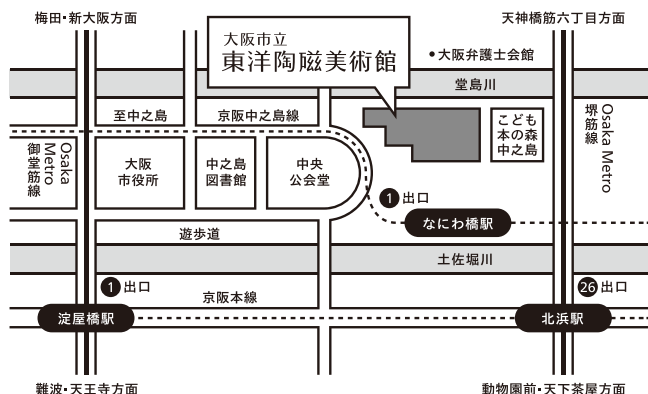
- 2025年12月19日(金) 午後6時～6時40分

【集合場所】大阪市立東洋陶磁美術館 エントランスホール

- 申込・参加費不要(別途入館料が必要です)

1	2	4
3	5	

1. 緑釉水樹(りよくすいじゅ) 後漢時代(1-2世紀) 海野信義氏寄贈
2. 白磁壺(はくしつぽ) 朝鮮時代(18世紀前半) 鈴木正男氏寄贈
3. 青磁刻花文盤(せいじこっかもんばん) 金時代(12世紀) 羅州窯 入江正信氏寄贈
4. 木葉天目茶碗(このはてんもくぢゃわん) 南宋時代(12-13世紀) 吉州窯 卯里欣侍氏寄贈/白樺廬コレクション
5. 白濁釉輪花口水瓶(はくだくゆうりんかぐみずびし) 江戸時代(17世紀) 野々村仁清(御室窯) 松恵コレクション 写真:加藤成文
*作品は全て大阪市立東洋陶磁美術館蔵



同時開催

特別展示

- 1 国宝「油滴天目茶碗」(展示ロビー1)
- 2 「青花虎鵲文壺」(展示ロビー2)

コレクション展

- 「純真之美—李秉昌コレクション韓国陶磁」(展示5)
- 「喜土愛楽—現代陶芸コレクション」(展示8)
- 「至高雅器—安宅コレクション中国陶磁」(展示9)
- 「天青無窮—安宅コレクション中国陶磁」(展示10)
- 「清廉雅品—安宅コレクション韓国陶磁」(展示11)
- 「百鼻線乱—沖正一郎コレクション鼻煙壺」(展示12)
- 「泥土不滅—現代陶芸コレクション」(展示13)

大阪市立 東洋陶磁美術館

THE MUSEUM OF ORIENTAL CERAMICS, OSAKA

〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-26

TEL 06-6223-0055(代表) <https://www.moco.or.jp>

【アクセス】

- 京阪中之島線「なにわ橋」駅下車すぐ
- Osaka Metro 御堂筋線・京阪本線「淀屋橋」駅から徒歩約400m
- Osaka Metro 堺筋線・京阪本線「北浜」駅から徒歩約400m

